

本宮高等学校における読書活動推進への取り組み

1. 学校の概要

- ① 〒969-1101 福島県本宮市高木字井戸上45番地
- ② 学級数 8クラス 生徒数 214名（令和6年12月現在）
- ③ 学校図書館の蔵書数 20,635冊

2. 読書活動推進へ向けた取り組み

(1) 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

① 司書による、2種類の図書館便りの発行

毎月「図書だより」を作成し、生徒に対し新着本やおすすめ図書の紹介、クイズを通じた名作紹介をしている。教職員には別に作成し不定期ではあるが配布をおこなっている。

② 特設コーナーの設置

カウンター付近に『新着図書のコーナー』を設け、『昨年度購入図書』という形で2か所設置。「職業・就職に関する資料」「面接・小論文に関する資料」「東日本大震災関連」「防災・災害に関する資料」「保育・子育て関連」と本校の特色にあったテーマごとのコーナーを設置し充実化を図っている。

③ 図書委員による、図書のおすすめ本紹介

ひとクラス2か月担当してもらい、通年を通してローテーションしながら、昼休みの時間を利用して「ライブラリーアワー」を実施、おすすめの本や図書館からのお知らせなどを放送している。原稿は、司書が作成したもので1回～2回、生徒がお勧めしたい本を読んで作成したもので1回計3回程度を担当してもらう。他にも、図書委員全員参加でPOP制作を実施している。近隣の高校とでおこなっているPOPの交換会に向けたものも含むが、小説・漫画とジャンルを問わず好きな本で制作してもらっている。

(2) 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取り組み

① 朝読の一斉読書の実施

通年をとおして、朝のSHR終了後10分間を「朝の読書の時間」として、全校生徒と学級担任等の教員が、本を読む時間を設けている。本は各自で用意したものや、図書館で廃棄となった本や寄贈された本で構成した「朝読文庫」を各学級に配置したものから選ぶようにしている。

② 授業等での図書館の利用

探究の時間や調べ学習の時間、自習等の時間での図書館利用を受け入れている。

③ 巡回図書の実施

本校では、選書実習を実施をしていないため、生徒たちに本を選んでもらうという機会がなかったが、今年度から岩瀬書店の協力を得て「巡回図書」を実施した。

(4)その他、読書活動推進へ向けた取り組み

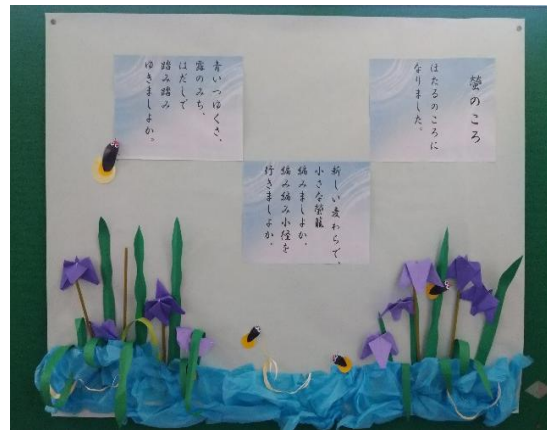
①公共図書館との相互貸出の実施

福島県立図書館や本宮市内の図書館からの相互貸出を積極的に利用し、本校に蔵書していない資料や不足している資料を提供している。

②季節や詩の掲示

季節ごとの企画では、七夕、秋のスタンプラリー、クリスマス時期の「まちがい探し」、お正月時期は絵馬を書いてもらったり、「図書館おみくじ」など、生徒参加型のイベントを実施している。

詩の掲示では、金子みすゞの『蛍のころ』や立原道造の『忘れてしまって』、Ariaの『かくれんぼ』など、文学作品や生徒たちの身近な音楽からピックアップし、解説とともに掲示、関連図書がある場合は館内で一緒に紹介している。



③近隣高校とのPOP交換会

今年も、近隣校である安達高校、二本松実業高校本校舎・安達東校舎の図書委員を中心とした生徒たちとの、POPの交換会を実施することができた。

